

## 交換留学(派遣) 近況報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)



留学先大学:	南洋理工大学
留学先での所属学部・研究科:	School of Social Sciences / Public Policy and Global Affair
留学先での在籍身分:	exchange student
留学期間:	2019 年 08 月 06 日 ~ 2020 年 05 月 10 日
神戸大学での所属学部/研究科:	法学部
学年(出発時):	3年
本報告書記入日:	2019/11/23

## 1. 出発前について

1-1	交換留学以前に海外留学の経験はありますか。 「はい」の場合、留学先及び留学期間を記入ください。	いいえ
1-2	このプログラムを最初にどのように知りましたか。 その他を選択した場合、記入してください。	神戸大学のホームページ
1-3	このプログラムに参加した動機を教えてください。	最もよく当てはまるものから順に1~4まで順位をつけてください。(1:最も強い動機)
	学術的な目的(研究を深めるなど)	1
	語学力の向上	2
	プログラムの時期がちょうど良い	
	プログラムの長さがちょうど良い	
	かかる費用がちょうど良い	
	地理的な条件が良い	
	将来のキャリアのため(就職に役立つなど)	
1-4	出発前にどのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば記入してください。	インターネットでシンガポール留学と検索してもなかなか情報が見つからないので、前学期に同校に留学していた方からライン等を通じて質問した。また、国際交流課の皆さんにもお尋ねした。
1-5	VISAについて	
	VISAの種類:	student pass
	申請先:	渡航1ヶ月前頃から大学のサイト(うりぼーみみたいな)を通じ、シンガポール入国管理局に申請
	必要日数:	申請後割とすぐメールが来るが、渡航後も手続きがありpassを受け取ったのは渡航後1ヶ月後くらい
	VISA取得にかかった費用:	なんだかんだでSG\$ 90 くらい払った
	VISA申請のために求められた書類:	「背景が白色の」パスポートサイズの写真
1-6	その他、VISA申請の際のトラブルや、注意すべき点があれば記入してください。	2セメスター在籍する人は健康診断(HIVとかの検査)を学内で受けて診断書を出さないと受理してもらえないため、早めに学内のクリニックにいった方がいい
1-6	出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用	必須ではないが、A型肝炎・腸チフス・日本脳炎等のワクチンは勧められた。1本¥8000くらい。
1-7	どのような種類の保険に加入したかを教えてください。また、現地で加入した保険があれば記入ください。	東京海上日動さんの付帯海学(国際交流課の方からも説明があると思います)
1-8	その他に必要な手続き、方法、料金等	学内の寮に住む際の寮の申請、受講したい授業の申請

2. 留学先到着後の手続きについて		
2-1	到着時について	
	利用旅行会社(航空券の手配をした会社):	シンガポール航空
	到着空港名:	シンガポール チャンギ国際空港
	空港到着時間:	午前4時ごろ
	到着地からの移動手段:	公共交通機関(バス・鉄道)
	移動の所要時間・料金:	1時間30分~2時間程度
	到着地からの移動で注意する点があれば記入ください。	最寄駅から大学が遠い(徒歩30分くらい)ので、最寄駅からはGrabという配車アプリを使う(SG\$6くらい)か、179番/199番バスを使う(SG\$1くらい)。学校のシャトルバスもあるが、最初はわかりにくいと思う。
2-2	住居について	
	住居のタイプ:	大学寮
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居(寮、アパート)の名前:	NTU Hall of Residence 11
	部屋の種類:	二人部屋
	その他を選択した場合、記入してください。	
	ルームメイト:	留学生
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居の探し方:	大学の斡旋
	その他を選択した場合、記入してください。	
大学までの通学時間・手段:	寮の場所にもよるが、バスで5分~10分くらい、寮は大学内で歩ける距離だが30分かかるところ	
住居の周りの環境はどうか。	緑が多く、日本よりも涼しい。ジムが近い。コンビニまでは徒歩10分くらい。近くに軍の基地があるため、時々大砲の音が聞こえる。	
毎日の食事はどうしていますか。	基本的に学内の食堂で食べる。至る所に食堂があり、ラーメンやカレーライス等もある。寮に共用のキッチンはあるが、自炊している人は見たことない。	
住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。	渡航前に見つかった。1人部屋を希望していたが2人部屋になった。しかしルームメイトが良かったのでよかった。	
2-3	留学生向けオリエンテーションについて	
	留学生向けオリエンテーションの有無について:	有り
	参加義務について	任意
	参加費用:	無料
	有料の場合、金額:	
オリエンテーションの内容を記入してください。	シンガポールで気をつけること/学内のアクティビティについての説明	
2-4	その他、渡航してから必要な手続きについて	履修登録、student passの申請
	現地で滞在許可申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。	日本のパスポートの場合、シンガポール国内には最大で30日間滞在できる。その期間内に学内で申請する必要がある。
	その他、現地到着後にした手続き(健康診断、予防接種等)があれば、方法、料金等を記入してください。	2セメスター滞在する人は学内のクリニックでの健康診断が必須

3. 語学力向上のためのコースについて		
3-1	語学力向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学(語学学校)名、コース名、料金、期間等を記入してください。	特になし。

4. 大学の授業について		
4-1	履修登録について	
	履修登録の時期:	出発後
	履修登録の方法:	オンライン
	その他を選択した場合、記入してください。	※出発前に受けたい授業の申請はするが、登録自体は渡航後行う。
	登録時に留学生として優先・配慮はありましたか。	無し
	優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。	皆無。
	希望通りの授業が履修できましたか。	リストから選択してください
希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。	実を言うと「まあまあ」。人気の授業の場合、渡航後に順番待ちをすることになる。	
4-2	現在までに履修している授業について記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>
4-3	一週間のスケジュール(授業時間、課外活動等、毎日の生活)を記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>

## 5. 現在までの感想を自由に記入してください。(800字～)

シンガポールは予想以上に過ごしやすい国である。小さい島でルールが多く窮屈そうに見えるが、数多くの民族、宗教を抱える国家で秩序を維持するためには仕方ないことなのだろうと思うし、慣れてしまえば不便でもない(但し、年々ルールが増え去年までOKだったものが今年はダメ、ということも多い。この前まで街中にあったシーシャバーが気づいたら皆無になっていた、など)。数多く存在するルールのお陰か、治安は非常に良く軽犯罪も少ない。レストランでの食事やその他嗜好品は高額だが、普段利用するローカルの食堂は安く美味しいので、食べ物にありつけない、なんてことはない。ただ、全体的に味付けが濃く、野菜も少ないのでだんだん飽きてきたりもする(といっても、食堂がそこら中にあり、1つの食堂に10店舗以上はお店があるので選択肢は多い。自分は単に好き嫌いが多いためチキンライスしか食べておらず、飽きてしまった)。シンガポールには伊勢丹・ドンキ・ダイソー・吉野家・ビアードパブなど日系のお店が多く、その数は年々増加中であるためホームシックにもなりようがない(この前近所にスローと業務スーパーができた)。と、これまでシンガポールの特徴を述べてきたが、要するにシンガポールは過ごしやすいのであと7年くらいは住めるかな、と思っている。

シンガポールに対する印象は来星以前よりも良いが、留學生活自体は予想以上にハードだった。英語での授業などほとんど経験がない自分にとって、いかにも難しい内容を英語で学び、他者の意見を英語で聞き、自分の意見を英語で言う、ということがこれほど難しいとは。また、学生も積極的に発言をし(先生の話を遮ってでも意見を言う人も)、それに対する反論を別の生徒が行うなど、日頃の授業がディベートのようである中で、自分はまともに意見すら言えないという状況で9月10月は授業に行くのが非常に億劫だった。授業についていくためには日々の予習復習が重要なため、「土日は近くの国にプチ旅行<sup>♪</sup>」なんて甘ったるい考えは早くも打ち消された(実際に毎週旅行にしている学生もいたが、彼らは英語ネイティブスピーカー。自分もいつかはそうなりたいな、と思うが留學中は無理だろう)。また、授業課題で出されるエッセイも自分を苦しめた。エッセイなどというぬるい名前をしているため初回でフワフワした内容を書いたら酷い点数が返ってきたこともある。そもそも自分は、恥ずかしながら参考文献の書き方すら心得ていなかった。あまりにも自分ができないことやこれまでテキトーにやっていたことが多すぎ、「あれ、自分は日本でなにしてたんだっけ」と思う。こんな状態の自分が日本で就活しようとしていたことを思うと恐ろしい。極めつけは英語力の無さ。誰かが英語で面白いことを言い、他のみんなは笑っているが自分は意味がわからない、でもとりあえず笑っておこうなんて状況が続く虚しくなる。「シンガポール訛りが～」「インド英語が～」などと言い、英語が聞き取れない理由を他者に求めてしまう人を時々見かける。申し訳ないが、英語が聞き取れない理由は大抵自身の英語力の無さにある。シンガポール人の英語をインド人は理解しており、インド人の英語をスペイン人は理解している。この現実から目をそらしたくて耳を塞ごうとすることもあるが、自分が惨めになるだけなので英語を再び勉強するようにした。自分の英語力自体はまだまだ底辺だが、少しは向上していると思う。来期はもう少しちゃんと授業に「参加」できれば、と思う。

シンガポールに来て気づいたことがもう一つある。それは如何に普段我々が周囲に気を遣いながら生活していたのかということである。先に述べたようにシンガポールは数多くのルールで秩序を維持しているが、逆に言うとルールで定められたこと以外は何んでもOKという感じがあるので時に「マナーとしてどうなの?」ということもある。道に広がって歩くな、歩きスマホするなどのルールは今のところ存在しないので、5列くらいで広がって歩き挙げ句の果てに道を譲らない、電車から降りるときもスマホを見ているので駅が大混雑など挙げればキリがない。「自分だけ周りに気を遣って損かも」と思うこともあるが、気配りをする文化は今後も続けていきたいと思うし、シンガポールにも広がればいいな、と思う。

## 4-2 現在までに履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Foreign Policy Analysis	Ana Alves	3時間	3	英語	25人	リーディングが多く、受講している学生も積極的に発言するためメンタルも含め一番辛い授業だった
2	International Politics of the Asia-Pacific Region	Chheang Vannarith	4時間	4	英語	30人	現地学生が多かった。クラス自体はリラックスしており、また先生は日本に5年ほど滞在していたこともあり気にかけて頂いた。テストはないがreadingが多い。
3	Chinese level2		3時間	3	英語・中国語	11人	グループワークのクオリティはどの学生も比較的高い
4	Spanish level1		3時間	3	英語・スペイン語	25人	他の先生はペースが早いですが、この先生は学生のレベルに合わせて下さった
5							
6							

## ・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスのサイズはそんなに大きくない。10~30人程度。授業にもよるが、基本的に真面目な学生が多い。授業では日頃から発言を求められることが多く、自発的に発言する学生も少なくないためかなり面喰らう。レポート、プレゼンテーション、ディベートもスクールによってはある(特に社会科学系)。グループワークが多い。授業1コマの時間が長く、最長で4時間あった。途中で休憩があり、食べ物などは自由に持ち込めた。

## 4-3 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	起床朝食	起床朝食	起床朝食	起床朝食	起床朝食	起床朝食	起床朝食
9:00	ジム	ジム		ジム	Foreign	ジム	ジム
10:00	中国語の	自習or	中国語の	自習	Policy		
11:00	授業	グループ	授業		Analysis	自習、	自習、
12:00	昼食	meeting	昼食		昼食	休憩、	休憩、
13:00	スペイン	昼食	スペイン	昼食	Int-	買い物、	買い物、
14:00	語授業	自習	語授業	自習	Politics	など	など
15:00	休憩	街へ	間食		of		
16:00	自習	買い物	自習		the		
17:00					AsiaPacifi		
18:00			ジム		c		
19:00	空手				休憩		
20:00		夕食	夕食	夕食	空手		
21:00	夕食	談話	談話	時々街で			
22:00	談話			飲み	夕食		
23:00	就寝	就寝	就寝		談話		